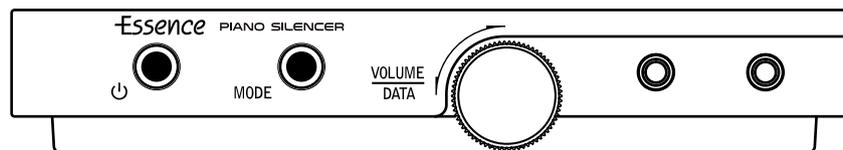


PIANO SILENCER

Essence

取扱説明書



安全に使っていただくためのご注意



この注意事項には電氣的衝撃、火災、身体の負傷について書かれています。
内容をよく読まれまして製品を安全にご使用ください。

- 1、製品をご使用になる前に、取扱説明書をよく読んでください。
- 2、製品に合った専用の電源アダプターを必ずご使用ください。
- 3、どのような場合にも、絶対に製品を分解しないでください。
- 4、電源の極性に合ったプラグをご使用ください。
- 5、電源コードは他の製品とは隔離し、他の重い物やピアノの重みにより押さえつけられないようにしてください。
- 6、製品を直射日光や、湿気の多い所、高温、極寒を避けてください。
- 7、長期間ご使用にならない場合は、コンセントを抜いてください。
- 8、修理が必要な場合、専門の技術者にご依頼ください。
- 9、本ユニットは本体のみで作動しますが、他の外部機器とつないで使用される場合、出力の特性及び出力差により破損することがありますのでご注意ください。
- 10、長時間、大音量での演奏や不自然な姿勢での演奏は避けてください。
特に大音量での長時間演奏は、聴力損失の原因になりますのでご注意ください。
- 11、自然な空調がある場所に設置するのが望ましい。
- 12、特に水やコーヒーのような飲料水などが、鍵盤やユニット本体にこぼれないようご注意ください。
もし水などをこぼした場合、電源を切って修理を依頼してください。
修理前に電源を入れたりしますと、本体、キーセンサーなどの破損の原因になります。
- 13、次のような場合は専門技術者に修理依頼してください。
 - 電源コード、アダプターが破損した場合
 - 製品に重いものを落としたり、液体をこぼした場合
 - 製品の一部が露出した場合
 - 製品が正常に動作しなくなった場合
 - 外観に致命的なダメージを受けた場合
- 14、本ユニットを使用しない場合もピアノの基本調律は定期的実施してください。
- 15、鍵盤ナラシ(高さ調整)やアクション整調の後は、本ユニットの正確な動作のため初期設定を必ず行ってください。

この度はピアノ消音ユニットシステム、エッセンスをお買い求めいただきましてありがとうございます。

本ピアノ消音ユニットを、通常のアコースティックピアノに取り付けることにより、ヘッドホーンを使った消音型ピアノとしてご使用になれます。

演奏情報は、非接触型反射式フォトセンサー検出方式により、ピアノタッチそのままの強弱を表現できます。

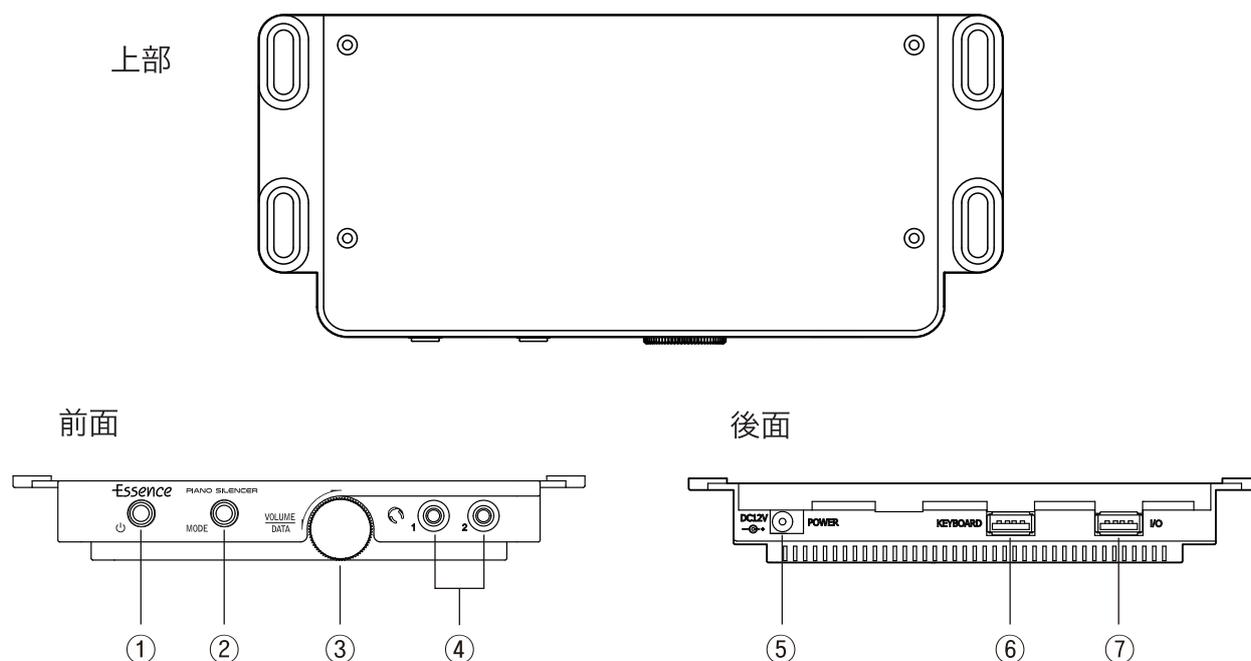
本ユニットは、デジタル楽器音10音色が内臓されていますので、ピアノ音色以外にもさまざまな楽器音で演奏が楽しめます。

目次

安全にご使用いただくためのご注意	2
製品紹介	3
製品構成及び配線図	4
各部の名称及び機能	5
基本操作	7
多彩な機能の活用	8
鍵盤操作による多機能の呼び出し	10
メトロノーム機能	12
録音	13
再生	14
デモ演奏	15
システムの初期設定	16
鍵盤毎の感度調整	17
システム設定機能	18
外部オーディオとの接続	19
MIDI PROGRAM Chart (GM)	21
DRUM Chart	22
MIDI Implementation Chart	23
製品の仕様及び規格	24
故障かな?と思われる前に	25

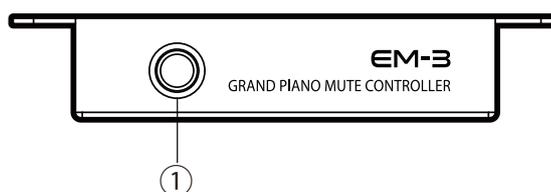
各部の名称及び機能

コントローラー (CONTROL UNIT)



- ① 電源スイッチ：システムの電源ON-OFF
- ② MODEボタン：システムの初期化／リバース／簡易メトロノームの設定に使用
- ③ ダイヤルボタン：ボリューム調整／音色選択／鍵盤感度調整の設定に使用
- ④ ヘッドホーン端子：ヘッドホーンを2つ使用可能
- ⑤ DC JACK：専用電源アダプターを接続
- ⑥ KEY BOARD：鍵盤センサーモジュールと信号ケーブルにて接続
- ⑦ MIDI：別売りMIDI I/O MODULEを繋ぎ、外部MIDI機器と接続

グランド専用ミュートコントローラー (Grand Piano Mute Controller)



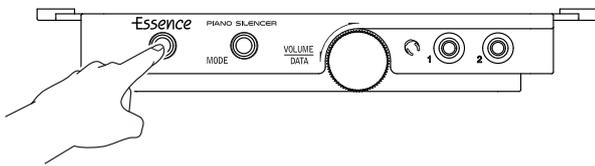
- ① 電源スイッチ：グランドミュートの電源ON-OFF

はじめに

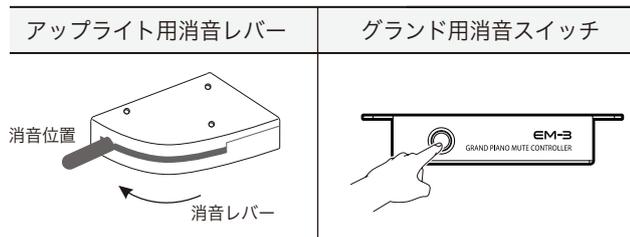
電源アダプターは必ず専用アダプターをご使用ください。

システムの起動

消音ユニットを取付けた後にシステムの合ったピアノの整調、鍵盤センサーの初期設定後にご使用が可能になります。

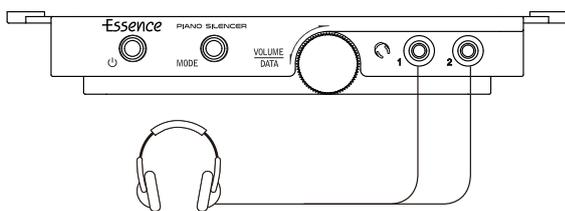


(1) 電源スイッチを押し、システムON

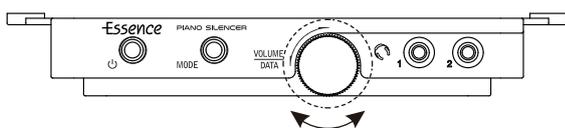


(2) 消音状態にします。

アップライト：消音レバーを手前に引きます。
グランドピアノ：メインコントローラーの電源を入れると連動してミュートコントローラーがOnになります。

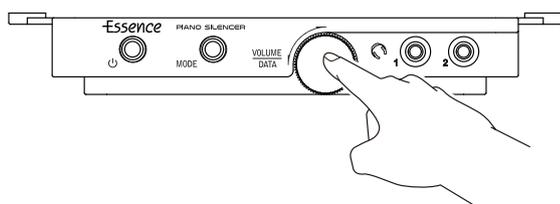


(3) ヘッドホーンを端子にしっかりと差し込みます。

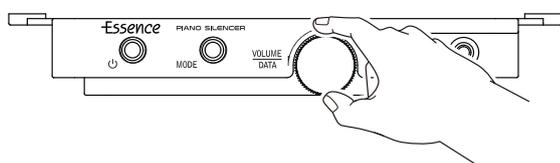


(4) 適当なボリュームと音色を選び演奏します。

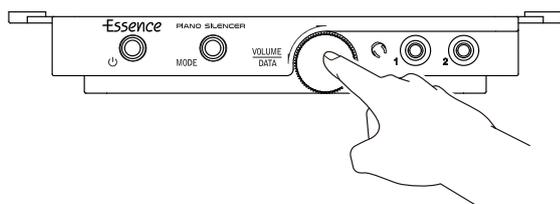
音色選択



- (1) ダイヤルボタンを軽く押して離す。
※ [Power] LED 点滅



- (2) この時にダイヤルを左右に回すと音色が変わります。
※ ダイヤルボタンを2秒以上長押しすると
基本音色のPiano1の戻ります。



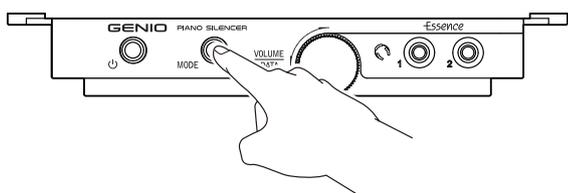
- (3) 音色選択後にダイヤルボタンを軽く押すと
音色が決定されます。
※ [Power] LEDが点滅より点灯に変わる

Pre-Set 音色

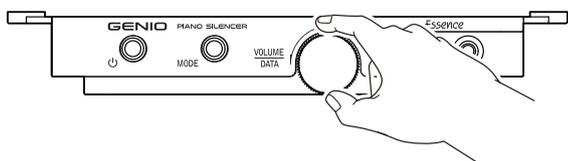
順序	Pre-Set 音色
01	Piano 1
02	Piano 2
03	E. Piano 1
04	Marimba
05	Harpsichord

順序	Pre-Set 音色
06	Vibraphone
07	Strings
08	Choir Aahs
09	Percussive Organ
10	Church Organ

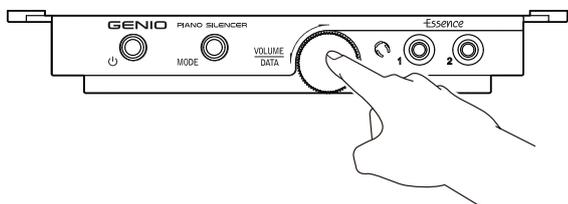
簡易メトロノーム機能



- (1) [Mode]ボタンを2秒以上長押し、離す
 - ※ [Mode] LED 点灯
 - ※ Metronomeが自動でスタートする
基準テンポ120



- (2) ダイアルを回しおおよそのテンポに調節する
 - ※ 右回しでテンポアップ、左回しでテンポダウン
 - ※ ダイアルボタンを長押しすると基準テンポ120に戻る



- (3) ダイアルボタンを短く押し、離すとテンポが設定され演奏モードに戻る
 - ※ [Mode] LED 消灯
 - ※ Metronomeが鳴った状態が維持される
 - ※ [Mode]ボタンで設定したテンポでメトロノームがスタート/ストップします。

鍵盤を利用したメトロノームテンポ設定

白鍵を利用してメトロノームのテンポを設定することができます。
[Mode]ボタンでメトロノームのスタート/ストップができます。

Modeボタンと白鍵を使いテンポ設定します。

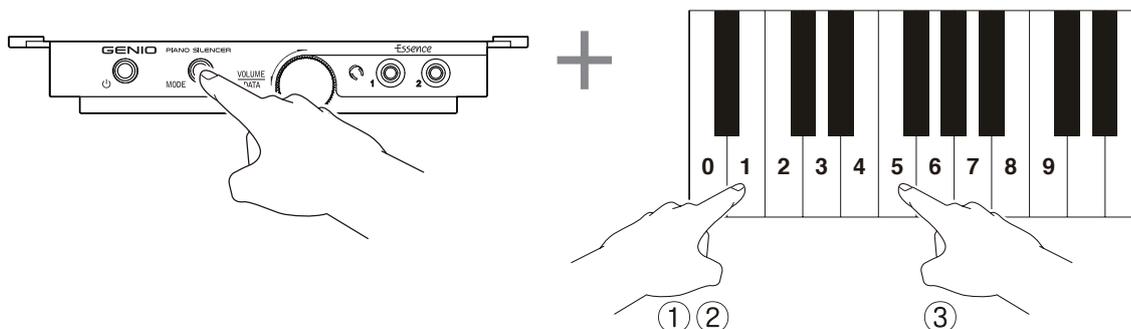
- (1) メトロノームがスタートしていることを確認します。
- (2) [Mode]ボタンを押しながら鍵盤に割り当てられた数字の組み合わせテンポを入力します。
- (3) [Mode]ボタンを離すとテンポが決定します。

※ テンポ範囲は025～250、組合わせた数字が250以上の場合は自動で025が設定されます。

※ 電源を切ると次は基本テンポ(120)に戻ります。

例)テンポ115に設定する場合

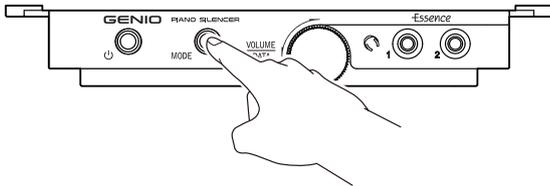
[Mode]ボタンを押しながら100の位の”1”に該当する鍵盤 B3を弾き、次に10の位の”1”に該当する B3を再度弾き、次は1の位の”5”に該当する F9 と順に弾いた後に[Mode]ボタンを離すとテンポ115になります。



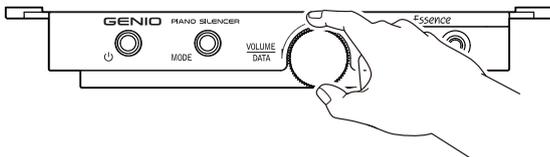
該当鍵盤	設定数値	該当鍵盤	設定数値	該当鍵盤	設定数値
A1	0	E8	4	B15	8
B3	1	F9	5	C16	9
C4	2	G11	6		
D6	3	A13	7		

・ピアノ工学では音階を英語読み、各鍵盤に最低音を1番から始め最高音88番まで鍵盤番号を割り当てます。そして各英文音階名の後ろに番号をつけて読みます。またフラットはつかわず全てシャープ#で読みます。最低音はA1、次の黒鍵はA#2、次はB3となり、最高音はC88になります。中央ドはC40、調律を始める音はA#37、音叉の高さの鍵盤はA49です。

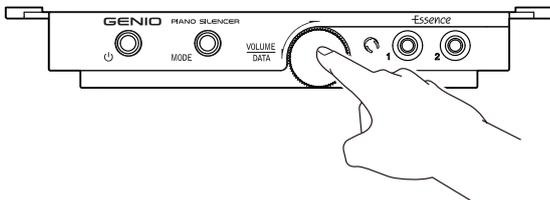
リバーブ(Reverb)調整



- (1) [Mode]ボタンを2秒以上長押し、離す
※ [Mode] LED 点灯
※ Metronomeが自動でスタートする



- (2) [Mode]ボタンを再度短く押す
※ [Mode] LED 点灯
※ Metronomeが自動でストップ



- (3) ダイアルを回しリバーブを調整する
※ ダイアルボタン長押しで0に戻る

- (4) ダイアルボタンを短く押すとリバーブが設定され演奏モードに戻る
※ [Mode] LED 消灯
※ Metronomeが起動していた場合、再びMetronomeがスタートする

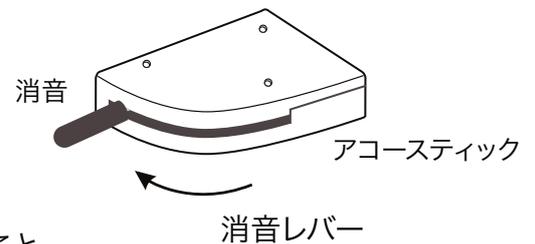
Memo

システムの初期設定

本システムは消音状態で、演奏者だけがデジタルピアノ音を聞くことができるように、鍵盤の下でセンサーが鍵盤の動きに合わせて変化する光を測定することによる信号を、本体のサンプルプログラムが、音源再生に必要な MIDI 信号に変換しています。本システムは、本システムは連続的位置検出を採用しているため、取付けた後に、鍵盤とキーセンサーの感度調整を、システム初期設定により、最適な感度によるデジタル音再生を行いますので、使用前の下記初期設定を注意深く行ってください。

A. 初期設定の前に

- (1) 本システムの配線連結が完全であること
- (2) 消音レバーが消音位置にあること
- (3) 設定前に鍵盤が押されていないこと
- (4) レットオフ等の消音システムに合ったピアノ調整が済んでいること



B. 初期設定モード

- (1) [Mode]ボタンを押しながら電源を入れます。(3-5秒間 [Power] LED点滅後点灯に変わる)
※ 接続ケーブルなどに問題がなければ [Mode] LEDが点滅します。
点滅が始まらない場合は電源を切り、配線のコネクターなどをチェックしてください。



- (2) [Mode] LEDが点滅中に88鍵盤を順番にひとつずつメゾフォルテぐらいの強さでしっかりと弾き、最後にペダルも両方一度ずつ踏みます。
弾いた鍵盤が初期化されると該当鍵盤の音が鳴ります。
認識済みの鍵盤は短く弾いた場合は発音します。
鍵盤を再び2秒以上押さえると該当鍵盤は再び初期化します。
初期化されない場合、一度電源を切って最初の手順からやり直します。
- (3) 各ペダルを一度ずつ踏みます。
- (4) 88鍵盤とペダルを弾いた後に、再度 [Mode] ボタンを押して完了します。
※ [Power] LEDが点滅から点灯に変わります。



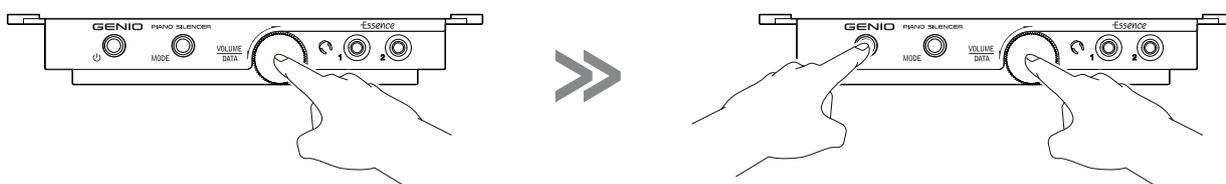
初期設定作業は、通常取付け技術者が行います。
また、引っ越しや長期間使わなかった時など、システムが不安定時に再設定されることお勧めします。

鍵盤ごとの感度調整（ボリューム調整）

キーセンサーの初期設定にて、各鍵盤ごとの感度は自動調整されますが、
鍵盤ごとの音量の違いが若干出る場合は、下記の作業にてボリュームの微調整が可能です。

(1) ダイヤルボタンを押しながら電源を入れます。

3-5秒間 [Power] LEDが点滅後、[Power] LEDが長短サイクルで点滅します。



(2) ヘッドホーンを着用し、鍵盤を弾きながら音量バランスをチェックします。

調整が必要と思われる鍵盤のボリュームをダイヤルで調整します。

元のボリュームに戻すにはダイヤルボタンを2秒程度長押しします。

ボリュームが調整されると [Mode] LEDが点滅します。

※個別感度調整中に特定の鍵盤を初期化する方法

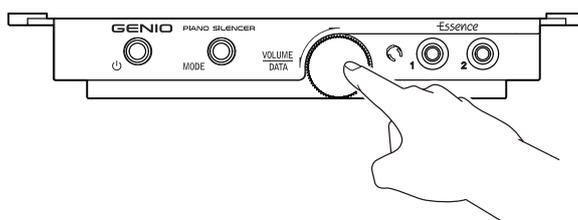
①該当鍵盤の半音下の鍵盤を押し、[Mode]ボタンを軽く押す。

②[Mode] LED が点滅した後に初期化する鍵盤を一度押し、[Mode]ボタンを軽く押す。

③該当鍵盤が初期化されます。

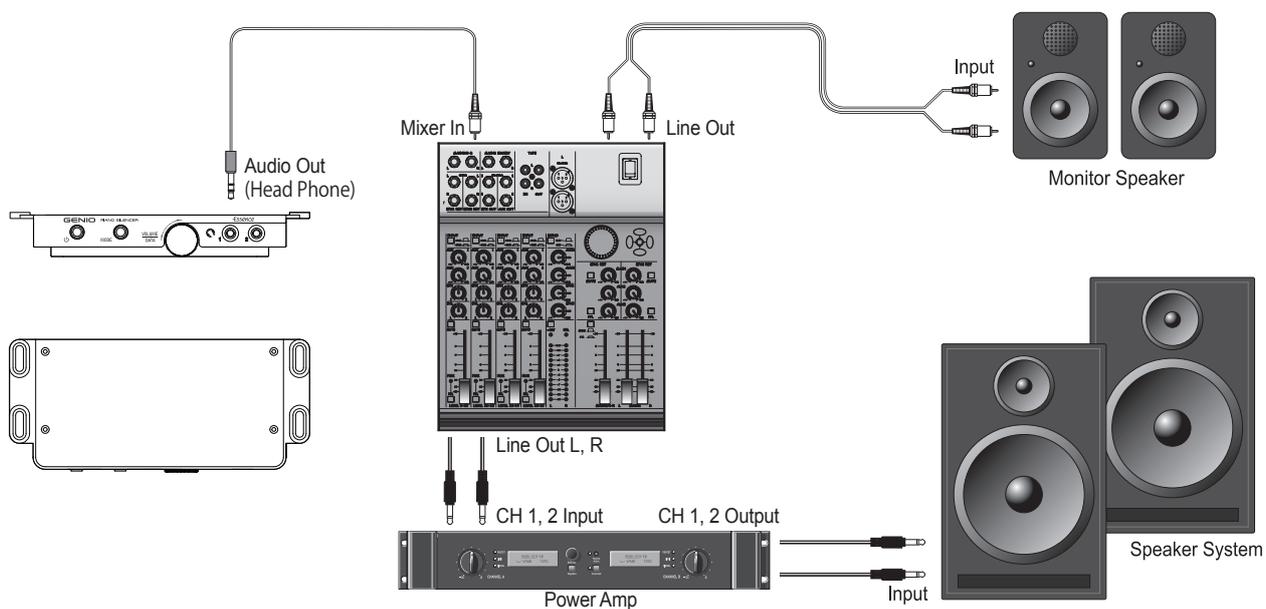
(3)全ての調整が完了しましたらダイヤルボタンを一度短く押します。

※[Mode] LEDが点滅後に [Power] LEDが点灯しましたら完了です。



外部オーディオとの接続

外部スピーカーより聴く場合



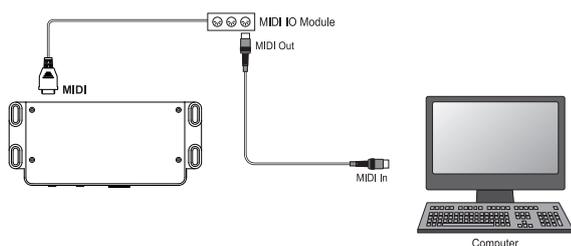
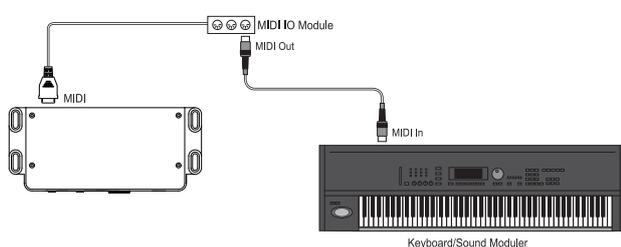
- A.本製品のヘッドホン端子よりオーディオ入力端子にオーディオケーブルで接続します。
オーディオの音量を適宜調整の上使用します。

外部MIDI機器との接続

MIDI拡張ケーブルは別売りオプションとなっています。

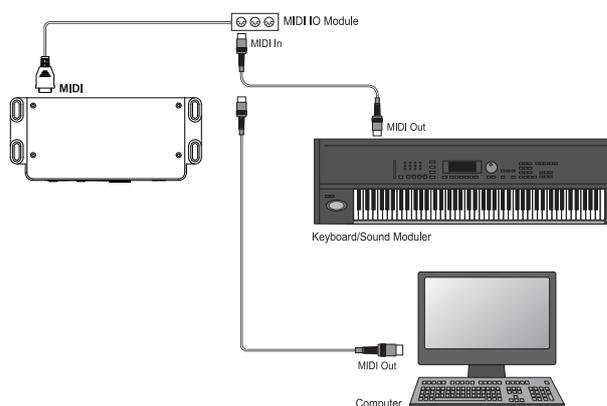
A. 外部MIDI機器へ送信

本製品の鍵盤演奏情報で他のMIDI機器のサウンド再生やパソコンのMIDIプログラムを使いパソコンで編集などできます。



- A. 本ユニットのMIDI OUTより他の機器のMIDI INへは MIDI CABLE(5 Pin Round Din Cable)を使用する。
- B. 外部MIDI機器の入力を設定して使用する。
- C. MIDI I/O Cable 別売り

MIDI IN



- A. 外部機器MIDI OUTと本ユニットのMIDI INをMIDI CABLEで接続
- B. 本ユニットは音源モジュール使用のみ、パラメーターは外部機器でコントロールします。
- C. メーカーによりGMやPatchの一部に音量、音色の差がありますので、違いを感じる場合があります。

製品の仕様及び規格

Item		Description	
Silent Mechanism		Universal Mute Rail by Manual Lever	
Sensor Keyboard		Reflector Type Optic Sensor System	
Velocity		127 Level	
Touch Response		5 Curves	
Sensitivity of each Keys		Individual Adjustment Range from 000 to 255	
Sensor Pedal		Sustain, Soft	
Sounds		10 Pre-Set, 128 GM Sounds	
Sounds Memory		384 Mb	
Polyphony		128 Poly	
Transpose		±24 Semitone	
Effect	Reverb	Type	8
		Range	000 ~ 127
	Chorus	Type	8
		Range	000 ~ 127
Pitch	Standard	440 Hz	
Metronome	Tempo	25 ~ 250	
Display		2LEDs	
Headphone Jack		1/8" x 2 Jacks	
MIDI Port		Input / Out / Thru (Extra MIDI I/O Module)	
Audio (Headphones)		Out (Stereo)	
Power Supply		Input : AC 100 ~ 240V, Output : DC 12V, 1.5A	
Dimension of Control Unit		171 x 19 x 76 mm (W x H x D)	
Remark			

故障かな?と思われる前に

症 状	思われる原因と解決方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 電源コンセントがしっかり入っているか確認する。 • アダプターの連結部、ユニット本体の電源プラグにしっかり入っているか確認する。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • ヘッドホーンがしっかり差し込まれていますか? • ボリュームが適当な大きさになっていますか? • 鍵盤を弾いた時にユニット前面の MIDI 信号受信が点滅するかを確認します。点滅しない場合、本体と鍵盤をつなぐケーブルがしっかり入っているか確認します。 • システムの初期化をします。
一部の鍵盤だけが音がでない	<ul style="list-style-type: none"> • 消音システムを再初期化します。初期化方法をよく読み正確に初期設定してください。
雑音が聞こえる	<ul style="list-style-type: none"> • 本システムは付属のヘッドホーンの許容量以上のボリュームが出ますのでボリュームを下げてください • ヘッドホーンに異物が入っていないか確認する
ペダル動作がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> • ペダル機能を個別に設定できるモデルではペダル毎の機能設定に熟知し設定してください。
ピアノ音もれる	<ul style="list-style-type: none"> • 本システムの消音機構はシャンクストップ方式を採用し、アコースティックピアノ演奏時の影響を最小限におさえる調整方法をとるため、最大のフォルテシモ等での演奏時に若干の音もれのするおそれがあります。音もれを完全に止める取り付け調整も可能ですがその際は生ピアノ演奏時のタッチが通常よりも浅く感じられることがあります。 • 消音演奏時にマフラーペダル(ピアノの真中のペダル)が OFFになっていることを確認ください。(アップライトピアノ) • どうしても音もれが気になる場合、もしくはメゾフォルテ程度の演奏においても音もれのする場合は取り付け販売店、技術者にご相談ください。

製品保証書

- ・ご購入後、正常な使用方法にておいて発生した故障につきましては下記の期間、無償で修理いたします。
- ・故障の際はご購入の販売店へご連絡ください

保証期間	本体	1年間
	ヘッドホン	6ヶ月 (持込修理)
	ACアダプター	6ヶ月 (持込修理)

無料修理規定

- 保証期間でも次のような場合は有料修理となります。
 - イ、使用上の誤り、または改造や不当な修理による故障または損傷。
 - ロ、ご購入後の取付場所の移動、落下、引っ越し、輸送等による故障または損傷。
 - ハ、火災、地震、水害、落雷、その他の天変地異ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障または損傷。
 - 取扱説明書に記載されている使用条件以外で使用した場合の故障または損傷。
 - ホ、本書の提示がない場合。
 - ヘ、本書におご購入年月日、販売店の記入がない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
 - ト、消耗品の交換、仕様変更など。
- 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料や出張修理を行った場合の出張料はお客様の負担となります。
 - ご転居の場合は事前におご購入の販売店にご相談ください。
 - 本書は日本国内においてのみ有効です。
 - 本書は再発行いたしませんので紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、ご購入の販売店にお問い合わせください。

お客さま名

取扱販売店名

住所

電話

取付ピアノメーカー

機種

製造番号

納入日

年

月

日

技術者名

・取付技術者の方へ

ユニット取付後、取付技術者名と取付日を上記へご記入ください。



輸入発売元

大阪府東大阪市俊徳町2-2-22

有限会社 オフィス タスティ

OCT.16